

第3学年〇組 学級活動（1）指導案

日 時 令和5年〇月〇日（〇）第〇校時

場 所 3年〇組教室

指導者 〇〇 〇〇

1 議題「3年〇組の歌をつくろう。」

（ア 学級や学校における生活上の諸問題の解決）

2 議題について

（1）児童の実態

本学級の児童は、運動会や社会科見学など学校行事やイベントを嬉しそうに友達と協力し合って取り組んでいる。友人関係では、素直な児童が多く、休み時間に元気よく外遊びに出ており、男女混合で遊んだり、教室内で仲良く会話したりしている。授業の様子では、得意なことや算数の簡易的な問題の答えなどについては、挙手する児童も多く意欲的な一面がある。その反面、自信のないことや自分の感じたことや考え、説明することには、限られた児童しか挙手しない傾向がある。朝の会の歌でも、自信のなさや恥ずかしさ、間違えたら嫌だという気持ちが強く、伸び伸びと歌えない児童もいる。

学級活動については、4月に「3年生としてこのクラスをどんなクラスにしたいか」という議題で話し合い、出された意見のキーワードをまとめて考えて、手作りのクラス目標を決めて教室の背面に掲示した。昨年度の2年生の時の経験はあるが、慣れている状況とは言えなかった。そこで台本や記録用紙を活用したり、計画委員に学級会の進め方を指導したりすることで少しずつ話し合いの形ができてきた。

「クラスの係を決めよう」「2学期がんばろう会をしよう」などの議題で話し合い、実践を重ねることにより、児童が協力して活動することのよさに気づき、話し合いの流れもスムーズになってきた。しかし、合意形成に時間がかかり、学級会が時間内にまとまらないこと、児童によって発言力（意見の強さ、発言の回数）の違いがあることが課題である。

（2）議題選定の理由

議題ポストに、「音楽会に向けてクラスの歌を作ろう」「2学期もがんばろう会をしよう」「クラスのシンボルを作ろう」などの議題案が入っていた。計画委員の児童たちと「3年〇組の歌をつくろう」の議題がクラスのみんなの心が一つになり、協力し合えるため議題としてよいのではないかと話し合い、選定された。本校は11月中旬に開校150周年記念校内音楽会が開催されるにあたって、児童から「音楽会でみんなが心をつにして成功するために、クラスのみんなで何か作りたい」という声が挙がっていた。歌を朝の会や学級の時間を通して歌うことでより一体感が生まれ、クラス目標ややりたい自分の姿を思い出し、日々の学校生活をより一層がんばろうとする気持ちを高めたい。また、心をつにしてしよう意識が高まり、苦手な子でも自信をもって取り組めるよさを味わわせたい。話し合いの際にはみんな馴染みのある歌から、心が一つになり目標に向けて頑張っていけるような歌詞を考えさせるなど、苦手な子も歌えるように工夫することで友達を思いやる心を育てていきたい。

3 研究主題との関わり

【学校教育目標】

かしこく(すすんで学ぶ子) やさしく(なかよくする子) たくましく(明るく元気な子)

【目指す学校像】

「人のために 教職員も子供も 笑顔で 尊敬し合い(愛) 共に学び合い(愛) 感謝し合う(愛)学校」

研究主題「主体的に学び、友達と協働し、豊かな学校生活をつくる特別活動」
～自ら考え、学び合い、笑顔あふれる児童の育成～

【目指す児童像】

「めあてに向かって話し合い、協力して実践し、よりよい集団をつくろうとする子」
(具体的な姿)

- ・人によって考え方や価値観が違うことが分かる。
- ・提案理由に沿って自分の考えをもち、相手に伝えることができる。
- ・他者の考えを受容しながら話し合い、みんなにとって良いという視点で合意形成ができる。
- ・活動の目標を達成するために、他者と協力して実践することができる。

【指導の工夫】

①事前指導での計画委員の活動計画の作成指導

学級会の経験があまり多くないので、話し合いの内容によって滞ってしまうことが予想される。そのような場面で、話し合いが深まる進行ができるように、計画委員と話し合い、進行のしかたを指導する。声のかけ方など具体的にイメージできるようにしていく。

②児童の言葉で繋げられる話し合い活動

学級会では、話題に沿って意見が途切れないよう、提案理由を意識させて話し合いができるよう促す。また、日々の授業で取り組んでいるグループ学習、ペア学習を意識させて、友達の話聞くように指導する。

4 第3学年及び第4学年の評価規準

| よりよい生活を築くための知識・技能 | 集団や社会の形成者としての思考・判断・表現 | 主体的に生活や人間関係をよりよくしようとする態度 |
|---|--|--|
| 学級や学校の生活上の諸問題を話し合っ解決することや他者と協働して取り組むことの大切さを理解し、合意形成の手順や活動の方法を身に付けている。 | 学級や学校の生活をよりよくするための課題を見出し、解決するために話し合い、多様な意見を生かして合意形成を図り、協力して実践している。 | 学級や学校における人間関係をよりよくし、他者と協働しながら日常生活の向上を図ろうとしている。 |

5 事前の活動

【計画委員会の活動】

| 日時 | 児童の活動 | 指導上の留意点 | ◎目指す児童の姿 【観点】(評価方法) |
|--------------------------------|---|---|-------------------------------------|
| ○月○日 (○) 朝の会 業間休み 昼休み | <ul style="list-style-type: none"> ・議題を選定する。 ・司会グループの役割を確認する。 | <ul style="list-style-type: none"> ・議題選びの視点を与え、それに沿って選定するように指導する。 | ◎よりよい学級生活になるために進んで議題選定をしている。【態】(観察) |
| ○月○日 (○) 朝の会 | <ul style="list-style-type: none"> ・決まった議題を発表し、提案理由も伝える。 ・曲を決めること、サビの部分を話し合い活動にすることを伝える。 | | |
| ○月○日 (○) 業間休み 昼休み | <ul style="list-style-type: none"> ○活動計画を作成する。 ・学級会の進行の仕方を確認する。 ・話し合いの柱を確認する。 ・決まっていることを確認する。 ・めあてを決める。 ・学級会ノート中原案を作成する。 ・学級会コーナーをつくる。 | <ul style="list-style-type: none"> ・実態を踏まえ、条件を教師が設定する。 ・進行の仕方を指導する。 ・各役割の仕事を伝える。 ・児童が主体となって掲示物を作れるよう助言する。 | |
| ○月○日 (○) 朝自習 | <ul style="list-style-type: none"> ・学級会ノートに自分の意見を記入し、教師に提出する。 | <ul style="list-style-type: none"> ・提案理由に沿った意見を考えることができるよう助言する。 | |
| ○月○日 (○) 業間休み 昼休み | <ul style="list-style-type: none"> ・司会の練習 | | ◎司会グループの役割、進行の仕方を理解している。 |
| ○月○日 (○) 業間休み 昼休み | <ul style="list-style-type: none"> ・全員の学級会ノートに目を通し、柱1に合う意見を出し合う。 | <ul style="list-style-type: none"> ・話し合いの見通しがもてるようにする。 ・めあてに合った内容か考えさせる。 | 【知・技】(観察) |
| ○月○日 (○) 業間休み 昼休み | <ul style="list-style-type: none"> ・学級会コーナーに選定した意見を載せ、質問やわからないことはないか確認する。 | | |

【学級全員の活動】

| 日時 | 児童の活動 | 指導上の留意点 | ◎目指す児童の姿 【観点】(評価方法) |
|-------------------------|---|---|---|
| ○月○日 (○) | ・議題を提案ポストに提出する。 | ・クラスの現状やどのようなことが必要かを考えられるようにする。 | ◎よりよい学級生活づくりのために進んで議題を考えたり、選んだりしている。 |
| ○月○日 (○) | ・提案理由を確認する。 ・活動場所を確認する。 ・学級会ノートに自分の意見を記入し教師に提出する。 | ・提案理由を意識させ、提案理由に沿った意見を考えることができるよう助言する。 | 【態】 (提案カード・観察) |
| ○月○日 (○) | ・曲を選定する。 | ・みんなが知っていて、歌詞を変えやすいものであるか考えさせながら決められるように指導する。 | |
| ○月○日 (○) 朝自習 | ・歌詞を区切り、グループで話し合いながらサビ以外の歌詞を変える。 | ・提案理由に合った内容になるように指導助言をする。 | |
| ○月○日 (○) 業間休み 昼休み | ・学級会コーナーを閲覧し、疑問や質問がある場合は付箋に張る。 | ・話し合い活動での質疑応答の時間を省略するため、事前に促しておく。 ・学級会コーナーを閲覧させ、めあてや提案理由を意識した話し合いができるように意識づける。 | ◎学級の問題に関心を持ち、進んで話し合いの準備に取り組もうとしている。 【態】(付箋・観察) |

6 本時の展開

(1) 本時のねらい

学年や学級の生活を楽しくするため、友達の思いや立場を察しながら、みんなが協力していこうと思えるように「3年〇組の歌を作ろう」について合意形成を図ることができるようにする。

(2) 児童の活動計画

別紙参照

(3) 教師の指導計画

| 活動の計画 | 指導上の留意点 | ◎目指す児童の姿 【観点】(評価方法) |
|---|--|--|
| <p>1 はじめの言葉</p> <p>2 計画委員の紹介</p> <p>3 議題の確認</p> <p>4 提案理由の確認</p> <p>5 話合いのめあての確認</p> <p>6 決まっていることの確認</p> <p>7 話合い</p> <div data-bbox="156 1016 485 1155" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>1 ①、②の歌詞に入れたい言葉を考えよう。</p> </div> <div data-bbox="156 1200 485 1339" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>2 いつ、どんな時に歌うか決めよう。</p> </div> <div data-bbox="245 1715 1040 1926" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>合意形成の手立て</p> <ul style="list-style-type: none"> ・話合いで入れたい言葉を考えさせた中で、提案理由に即している言葉か、提案理由に合った歌になっているか実感させる。 </div> | <ul style="list-style-type: none"> ・全員に伝わる声で言えるように、事前に指導する。 ・役割と名前をはっきりと言えるように、事前に指導する。 <div data-bbox="571 528 948 584" style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> <p>3年〇組の歌をつくろう</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・改めて全体で確認することで、提案理由を意識して話し合えるようにする。 ・事前に掲示できるものを用意し、共通理解をして話合いに入れるようにする。 ・議題や話し合うことなどは、事前に短冊に書いてはることができるように準備する。 ・「くらべあう」段階から進められるよう、事前に短冊に掲示し、出されている意見を全員で共通理解できるようにしておく。 ・話合いが混乱したときや、ねらいや提案理由などから大きくそれた場合は、議題や提案理由に立ち返らせて指導助言する。 ・自分の意見に固執せず、納得したうえで考えを変えることなど、折り合いをつけることも必要であることについても助言する。 ・自治的活動の範囲を超えている場合など必要に応じて指導助言する。 | <p>◎目指す児童の姿</p> <p>【観点】(評価方法)</p> <p>◎提案理由に沿って、心が一つになるような歌詞を考え、進んで自分の意見を発表している。</p> <p>【思・判・表】 (発言)</p> <p>◎活動を通して、提案理由に即した歌詞について合意形成を図っている。</p> <p>【思・判・表】 (観察)</p> |
| <p>8 決まったことの確認</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・発表に不足がある場合は助言する。 | |

| | | |
|-----------|--|--|
| 9 振り返り | ・良かった点について自己評価し、友達の良かった点についても相互評価できるように指導助言する。 | |
| 10 教師の話 | ・①合意形成したことへの価値付けや個人や集団への称賛をする。②今後の課題を伝える。③計画委員へのねぎらいをする。④今後の見通しや本番に向けての意欲付け等について簡潔に述べ、前回の話合いと比べての変容について称賛する。 | |
| 11 おわりの言葉 | ・学級会が気持ちよく終わられるよう、はっきりと言えるよう指導助言する。 | |

7 事後の活動

| 日時 | 児童の活動 | 指導上の留意点 | ◎目指す児童の姿 【観点】(評価方法) |
|-------------------|---|--|--|
| ○月○日(○)～ 休み時間 | ・決まったことを学級会コーナーに掲示する。 ・歌詞を見ながら学級会で決めたところで歌う。 | ・決まったことを全員が確認しやすくするため、要点を書くように助言する。 ・自分たちの思いを込めて歌えるように助言する。 | ◎自分の役割を自覚し、進んで準備に取り組もうとしている。 【態】(観察) |
| ○月○日(○)、 ○日(○) | ・音楽発表会へ向けて歌う。 ・振り返りを行う。 | ・心を一つにできるように意識させて歌うよう指導する。 ・振り返りを行い、これまでの活動や音楽会での自分たちの頑張りを振り返らせる。 | ◎活動を振り返り、自分の頑張りや友達の頑張りに気付き、次の活動に生かそうとしている。【態】 (観察・振り返りのカード) |

第〇回 学級活動計画書

| | | | | | |
|--|--|--------------------------------------|--|--|--------------|
| 議題 | 3年〇組の歌を作ろう | | | | |
| 提案者 | 〇〇 〇〇 | | | | |
| 提案理由 | 音楽会が近く、クラスでよ り協力しないといけない。 | そこでみんなが頑張れるよ うに3年〇組の歌を作りたい。 い。 | 歌を歌うことで心が一つに なり、もっと今よりも協力 できるクラスになる。 | | |
| 決まってい ること | 歌「パプリカ」をかえ歌にする。 | | | | |
| 話し合いの めあて | 心が一つになるための歌詞を考え、話し合おう。 友達の意見をつなげて話し合おう。 | | | | |
| 計画委員会 | 司 会 司 会 | | 黒 板 記 録 | | ノ ー ト 記 録 |
| 話し合いの順序 | 時間 | 気を付けること | | | 資 料 |
| 1 はじめの言葉 2 計画委員の紹介 3 議題の確認 4 提案理由の説明 5 話し合いのめあての 確認 6 話し合うこと | | | | | |
| | | 1 ①、②の歌詞に 入れたい言葉を考え よう。 | | | |
| | | 2 いつ、どんな時 に歌うか決めよう。 | | | |
| 7 決まったことの確認 8 ふりかえり 9 先生の話 10 終わりの言葉 | | | | | |

8 備考 児童数 男子〇名 女子〇名 計〇名